

『アート&テクノロジーの過去と未来 Possible Futures : Japanese postwar art and technology』

展覧会カタログだが、アートとテクノロジーの融合を記録した歴史的資料としても貴重

森山 和道(サイエンスライター)



NTTインターコミュニケーションセンター 企画
ISBN : 4-7571-7031-9
定価 : 本体 2,200 円 + 税
NTT 出版

本書はNTT インターコミュニケーションセンター(ICC)の企画展の展覧会カタログである。ICCは「コミュニケーション」を軸にした科学技術とアートの文化施設だ。西新宿・東京オペラシティタワーにあり、メディアアート展その他の企画を実施している。

現在ではコンピュータを使ったアート作品も珍しくなくなった。だがアーティストたちが技術にインスパイアされたり、あるいは技術と人間の関係を見つめ始めたのは、ごく最近のことではない。「アート&テクノロジーの過去と未来」展では戦後作家たちによるアート作品が展示されている。2つの金属端子に触れると音が生まれ、接触面積に応じて音の高

さが変わる楽器。体験者本人の重量情報とGPSによる位置情報が共に呈示されるインスタレーション。その他、写真やフィルムを使った作品群や、大阪万博に実際に展覧された作品などが、本書では豊富な図版で再録されている。

中には作家本人が死亡しているものもある。だが古さを感じさせない。メディア・アートは一般に古びるのが早いといわれる。だが、古びないものも確かにある 新鮮な発見だった。

インタラクティブ・アートは体験者自身がシステムの一部となり常に変化していく、その過程そのものがアートとなる点の特徴としている。これからのアートはどのように変わっていくのだろうか。

『ネットで月収1000万円 情報起業の不思議な稼ぎ方』

ブログブームによる国民総作家現象が起きている今
新しいネットビジネスとして注目される情報起業とは？

山川 健(ジャーナリスト)

「月収1000万円」といういかにも“売らんかな”のセンセーショナルなタイトルはともかく、手軽に始められる情報起業に焦点を当てた実用書。情報起業は、ネットビジネスのトレンドとして注目されること必至。本書では、自らの成功事例を基に、そのノウハウを紹介している。

ブログが一大ブームとなった昨年は、それに付随する格好でアフィリエイトが一般化した。個人のブログ(サイト)にも簡単に広告が入られるようになり、小遣い稼ぎが可能になった。そのため、アフィリエイトによる収入を目的にブログを開設する層も多く現れた。もはや個人サイトも、もうけるためのツール、という考えが定着しつつある中、次にブレイクす

るのが、情報起業だろう。

既に兆候は現れている。ブログに何気なく書きつづった身近雑記が、出版されるとともにベストセラーとなり映画やテレビドラマにもなった。プロの作家の書籍より、素人が書いた本の方が売れるという国民総作家化現象が起きているのだ。

本書で語られる情報起業とは、売れるネタを探し、それについて自分の知識を書いてプリント、冊子(商材)にして自身のサイトで販売する方法。ネタがなければ他人に書かせて売ればいい、という。こうなると、完全に個人出版社である。

誰もが著者たちのように成功できる訳ではないが、新しいネットビジネスのあり方を知るうえで大いに参考になる。



室賀 博之、菅野 一勢 著
ISBN : 4-8061-2323-4
定価 : 本体 1,300 円 + 税
中経出版

本でしか得られない知識がある。
今月の、お勧め、お役立ち、元気になる書籍。

『実験心理学が教える 人を動かすテクノロジー』

対話型コンピュータによる説得のテクノロジーとは
先進の研究者がその全貌を解説

斉藤 彰男(編集者、SE)



B.J.フォッグ 著
高良 理、安藤 知華 訳
ISBN : 4-8222-8246-5
定価 : 本体 2,200 円 + 税
日経 BP 社

コンピュータは、その処理能力の向上によって、当初の「計算する」用途から、より広範囲な用途に用いられるようになったのは、誰もが認めるところだろう。

本書が扱う「カプトロジー」(computer as persuasive technologies : 説得のためのテクノロジーとしてのコンピュータから頭文字をとった造語)は、「人の態度や姿勢、行動を変えることを目的として設計された対話型のコンピュータ製品のデザイン、研究、分析」に焦点をあてた新しい研究分野で、コンピュータ技術と「説得の技術」が交わる領域と著者のB.J.フォッグは定義する。

本書では、そのカプトロジーについて、コンピュータはどのように人を説得する

のか、コンピュータが信頼性を獲得するには、携帯性とネットワーク接続機能による説得力の向上、説得のためのテクノロジーと倫理的な課題など、様々なテーマについて専門領域外の読者にもわかりやすく丁寧に解説している。

なかでも、「ワールドワイド Web と信頼性」と題した章は、ウェブサイトにおける信頼性がいかに重要であるかを述べ、信頼性が高く認知される要素と低く認知される要素をリストしたチャートや、ウェブの信頼性をカテゴライズしたフレームワークなど、信頼性を獲得するための様々な手法を詳細に解説している。ウェブコンテンツの企画者には、ぜひ一読を薦めたい一冊である。

『PHP サイバーテロの技法 攻撃と防御の実際』

14 種類の攻撃法として整理された
ウェブアプリケーションのセキュリティ対策

大澤 文孝(テクニカルライター/プログラマー)

ウェブアプリケーションのセキュリティ対策は、幅広くわかりにくい。そこで本書は、大胆にも攻撃方法を 14 種類に分類し、「どんなコードを書くと問題となるのか」そして「その対策としてどうすればよいのか」を簡潔にまとめている。果たして 14 種類で足りるのかとも思ったが、実際読むと、確かにどの攻撃も試してみれば 14 種類に還元できそうだと感心させられた。

本書の PHP のサンプルは、難しいものではなく、初心者でも読み砕ける。対策には正解を記述するだけでなく、よくありがちな誤った対策方法も併記されており、間違った対策をしてしまう心配がない。

むしろ、セキュリティ対策をしたら、

正しく対策されているかどうかの確認も必須だ。本書では、その点も抜きなく、MaxPartol や Paros といった脆弱性スキャナーの使い方も説明されている。

また最後の章では、「チャート式：脆弱性の見つけ方」として、既存コードにおいて脆弱性がありそうな部分に目星を付ける方法も記されている。

本書では、PHP における型の扱いやセッションの扱い、そして設定パラメータまで踏み込んでおり、平易でありながらして実用性が高く、内容に無駄がない。これから PHP を始める開発者はもちろん、すでに PHP で開発している者にも、自分の対策が正しいかどうかの確認用として、活用できるだろう。



GIJOE 著
ISBN : 4-88337-471-8
定価 : 本体 1,800 円 + 税
ソシム



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp